

「ふだんの暮らしの

子ども食堂併設コミュニティカフェ「hug café」はぐかふえを運営。毎日子ども食堂として子どもから高齢者まで100円〜500円で汁三菜のお料理と宿題や遊びスペースを提供しています。主に食育・教育・住育・音育を根幹に子どもたちが将来希望を持って楽しく生きるためのお手伝いをさせていただいております。非常事態などに備えた生きた知識や情報を発信していきたいです。

あなたにとってのふだんの暮らしのしあわせとは？

美味しいご飯と子どもたちの笑顔



河合 伸朗

住之江区わんにゃんパトロール隊

散歩をしながら地域の見守り

いつもの愛犬などこの散歩時間、散歩コースがそのままパトロールの時間・コースになります。隊員のオリジナルグッズを身に付け、ただただ、散歩をしながら、ちよっと地域の見守りを行うだけです。また、区内におけるイベントなどに参加し、隊員募集を行ったり、適性のある愛犬などと一緒に、福祉施設にセラピー訪問に行ったりしています。

あなたにとってのふだんの暮らしのしあわせとは？

人間と大切なペットが、ともに地域の安全・安心を守って共存共生できる社会です



田中 恵士

医療法人弘善会グループホーム・小規模多機能 あろんていあ住吉

一人ひとりの暮らしを大切に支援しています

高齢者施設内での支援相談援助をしています。平成29年11月1日にオープンしたグループホームで認知症の方々の日々の暮らしを支援しています。一緒にコーヒーを飲んで、一緒に笑って、時には一緒に悩んで…。一人ひとりの暮らしを大切にしたい支援を行っていきたくと思っています。

あなたにとってのふだんの暮らしのしあわせとは？

自分の日常の生活がある事



内田 瞳

自立生活夢宙センター

世の中の障がい者観をぶち壊したい

どんなに重度な障がい者でも、地域で自分らしくいきいきと暮らせるように、障がい者自身が中心となって仲間の自立のサポートをしています。さまざまなイベントを企画しながら障がい福祉分野以外の人たちとのつながりも大切に、これからも良い意味で世の中の障がい者観をぶち壊し、誰もが安心して暮らせる住之江を皆さんと一緒に地域を耕しながらつくっていきます。

あなたにとってのふだんの暮らしのしあわせとは？

仲間と一緒に笑っている時間

地域の方との交流の中で、困ったことがあれば、相談にのり、区役所や包括支援センターなどの機能につなげたりしています。ボランティア活動では、食事サービス、ふれあい喫茶、子育てサロンにも参加させていただいています。食事サービスは、月に一度、第3土曜日に開催し、美味しい食事の後ふれあい会を開いて、皆さんに笑顔で帰っていただいています。皆さん一度見学に来てください。

あなたにとってのふだんの暮らしのしあわせとは？

息子の成長かな？



長谷川 安伸 樋原 裕二

区社会福祉協議会
生活支援コーディネーター

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていきけるように

高齢者の社会参加と居場所づくりなど、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていきけるよう、生活支援・介護予防の体制づくりを進めるのが仕事です。地域特性や高齢者の生活課題(困りごと)を把握し、サービスの開発や担い手の発掘・育成、ネットワークづくり、ニーズと取組みとのマッチングなどを行っていきます。

あなたにとってのふだんの暮らしのしあわせとは？

笑顔で話し合える人がいること